

被爆70周年祈念

残 夏 -1945-

1945年 広島・長崎に原爆が落とされた
被爆した聞こえない人たちはどうしていたのか
彼らが見たあの夏…
2015年 被爆70周年を迎えます

演出 野崎美子
脚本 米内山陽子(チタキヨ)
出演 日野原希美 渡辺英雄 貴田みどり 五十嵐由美子
砂田アトム 宮崎陽介 西田夏奈子 雫境 大橋ひろえ

サイン アート プロジェクト.アジア第5弾公演 & 10周年記念公演

日 時 2015年7月18日(土)
① 13時～(12時30分開場) ② 18時～(17時30分開場)

会 場 広島市東区民文化センター・大ホール
(住所:広島市東区東蟹屋町10-31)

料 金 全席自由 一般:2,999円 / 小中学生:2,000円

(チケット取り扱い・お問い合わせ先)

一般社団法人広島市ろうあ協会

〒732-0052 広島市東区光町2-1-5広島市心身障害者福祉センター内

TEL/FAX 082-262-2579 E-mail hcd22-7.6jsl@hi.enjoy.ne.jp

NPO法人広島県手話通訳問題研究会

〒732-0052 広島市東区光町1-11-5-508 チサンマンション広島

TEL 082-568-6770 FAX 082-568-6771 E-mail hirotsu-ken@nifty.com

振込先 「被爆70周年祈念公演実行委員会」ゆうちょ銀行 記号 01330-4 番号 90827
他金融機関からの振込番号 一三九(イサナナ)店 当座 0090827

残夏(さんか)－1945－

「聞かせて下さい。あなたの手に残された夏を_____」

夏実(なつみ)は離婚した夫との間に生まれた耳の聞こえない娘の結(むす)と二人暮らしの新聞記者。

夏実と結の関係は断絶しようとしていた。

夏実は自分の母、康子(やすこ)と思春期に断絶して以来、必要以上に会わずに人生を過ごして来た。

ある日、終戦七〇周年の記事の一端を任された夏実は母のことに思い至る。

母はろう者で、終戦間際の長崎(ながさき)で生まれ、被爆(ひばく)している。

被爆したろう者の体験談(たいけんだん)を聞こうと夏実は通訳(つうやく)を依頼する。

通訳者としてきたのは元夫(もとふ)である沢口(さわぐち)だった。

広島(ひろしま)で、ろう者の語る壮絶(さうげつ)な被爆体験(ひばくたいけん)は夏実に母(はは)を思い起こさせる。

夏実は通訳である沢口を伴(とも)って帰郷(ききょう)。母娘(ははむすめ)はひさしぶりの対面(たいめん)を果たす。

「同じだ。わたしは大嫌いだったこの人と同じ母親(はは)になっているんだ……。」

やがて通訳を介して語られる母の半生(はんせい)。そして母の両親(りやうしん)の被爆――

もつれて、からまって、途切(とぎ)れているようで繋が(つなが)っている、七〇年の母娘(ははむすめ)の物語(ものがたり)。



日野原希美



渡辺英雄



貴田みどり



五十嵐由美子



砂田アトム



宮崎陽介



西田夏奈子



霽 境



大橋ひろえ

舞台監督 清水義幸(カフンタ)
宣伝カメラマン 中島福美
プロデューサー 大橋ひろえ
企画・製作 サイン アート
プロジェクト アジアン

主 催： 一般社団法人 広島市ろうあ協会
特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会西部ブロック
協 力： 広島県手話サークル連絡協議会
広島県立広島ろう学校・広島南特別支援学校同窓会
後 援： 一般社団法人 広島県ろうあ連盟
特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会
広島県 広島市 中国新聞社
テレビ新広島 広島テレビ 広島ホームテレビ
公益財産法人広島観光コンベンションビューロー